

平成27年第2回定例会 予算決算常任委員会

戦略企画雇用経済分科会

提出資料

◎ 所管事項

「債権処理計画（平成26年度実績）について」……………資料1

◎ 議案説明事項

「平成26年度歳入歳出決算補充説明」……………資料2

平成27年11月4日

出納局

資料 1

債権処理計画（平成 26 年度実績）について

平成 27 年 11 月 4 日

出 納 局

様式(実績2)

平成26年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	出納局長
2 取りまとめ担当課名	出納総務課

滞納債権の現状

3 平成26年度実績

債権の性格	種別	A 平成25年度 実績	B 当初 (平成25年度末)	C 平成26年度 目 標 (26年度発生分を除く。)				D 実績(平成26年度末) (26年度発生分を除く。)				E 26年度発生分期 未残高	F 平成26年度末 B-D+E	主な債権	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額			
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数			
3-1 強制徴収 公債権	回収対象	円		円	回収率		円	回収率							
	整理対象	円		円	整理率		円	整理率							
	計	0円	円	0円	処理率		0円	処理率			円	0円			
3-2 非強制徴収 公債権	回収対象	円		円	回収率		円	回収率							
	整理対象	円		円	整理率		円	整理率							
	計	0円	円	0円	処理率		0円	処理率			円	0円			
3-3 私債権	回収対象	100,000円		10,400,000円	回収率	10,400.0	円	回収率	0.0	0.0					
	整理対象	円		円	整理率		10,400,000円	整理率							
	計	100,000円	10,400,000円	10,400,000円	処理率	100.0	10,400.0	10,400,000円	処理率	100.0	10,400.0	100.0	円	0円	
合計	回収対象	100,000円		10,400,000円	回収率	10,400.0	0円	回収率	0.0	0.0					
	整理対象	0円		0円	整理率		10,400,000円	整理率							
	計	100,000円	10,400,000円	10,400,000円	処理率	100.0	10,400.0	10,400,000円	処理率	100.0	10,400.0	100.0	0円	0円	

様式(実績1)

平成26年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	トナー納入業者が模造品を納入したことによる損害賠償請求訴訟における和解金
4 滞納となった要因等	連帯して債務を負う法人は清算が終了し、個人についても支払不能状態のため、破産手続き中であることによる
5 部局長等名	出納局長
6 所管課等名	会計支援課

7 取組方針	裁判所で破産手続き中であることから、今後の裁判所の決定事項に基づき、法令等に沿った対応を行っていく。
8 取組成果	債務者は、法人とその代表者である個人であり、連帯して支払義務があった。法人については、平成26年5月7日付けで破産手続廃止決定が行われ、清算が終了したことにより法人の債務は消滅している。それに加え、個人についても平成26年12月3日付けで破産手続廃止及び免責許可決定がされた。以上のことから、三重県債権管理マニュアルに基づき、未収金全額の不納欠損処分を行った。

滞納債権の現状

9 平成26年度実績

債権の性格	種別	A 平成25年度実績	B 当初(平成25年度末)	C 平成26年度目標(26年度発生分を除く。)			D 実績(平成26年度末)(26年度発生分を除く。)				E 26年度発生分期末残高	F 平成26年度末 B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
9-3	回収対象	100,000 円	/	10,400,000 円	回収率	10,400.0	0 円	回収率	0.0	0.0	/	/		
		0 件	/	1 件	回収率		0 件	回収率		0.0	/	/		
	整理対象	0 円	/	0 円	整理率		10,400,000 円	整理率			/	/		
		0 件	/	0 件	整理率		1 件	整理率			/	/		
	計	100,000 円	10,400,000 円	10,400,000 円	回収率	100.0	10,400.0	10,400,000 円	回収率	100.0	10,400.0	100.0	0 円	0 円
		0 件	1 件	1 件	回収率	100.0		1 件	回収率	100.0		100.0	0 件	0 件

資料 2

平成 2 6 年度

歳入歳出決算補充説明

出 納 局

となっております。これは、地域経済活性化・雇用創出臨時基金より繰入を行い、財務会計システムの更新に要した経費に充当したものであります。

124 頁の第 14 款「諸収入」第 2 項「県預金利子」第 1 目「県預金利子」のうち出納局関係は、

予算現額 2,543 万 1,000 円

調定額、収入済額 2,636 万 3,739 円

となっております。これは、歳計現金の運用益のうち、出納局の事務費に充当したものであります。

また、134 頁の第 8 項「雑入」第 1 目「小切手未払資金組入」であります。

予算現額 3,354 万 1,000 円

調定額、収入済額 3,567 万 8,226 円

となっております。これは、自動車税の還付金等で小切手等を振出して一年を経過したものを歳入として組入したものであります。

また、同じく 134 頁の第 2 目「雑入」のうち、出納局関係は、

予算現額 221 万 1,000 円

調定額、収入済額 118 万 3,468 円

となっております。これは、主に物件等電子調達システムの利用にかかる企業庁及び病院事業庁の負担金であります。

また、138 頁の第 3 目「過年度収入」のうち、出納局関係は、

予算現額 0 円

調定額 1,040 万円

不納欠損額 1,040 万円

となっております。これは過年度における模造品トナー納品にかかる弁償金であり、債務者の破産により、三重県債権管理マニュアルに基づき不納欠損処分を行ったものです。

140 頁の第 15 款「県債」第 1 項「県債」第 1 目「総務債」のうち、出納局関係は、

予算現額 1 億 8,900 万円

調定額、収入済額 1 億 8,900 万円

となっております。これは財務会計システムの更新に要した経費に充当したものであります。

【出納局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額
総務費		
総務管理費		
一般管理費	384,291,000	383,976,119
会計管理費	539,637,000	524,862,574
出納局関係分 計	923,928,000	908,838,693

次に、歳出についてご説明申し上げます。

166 頁の第 2 款「総務費」第 1 項「総務管理費」第 1 目「一般管理費」のうち出納局関係は、

 予算現額 3 億 8,429 万 1,000 円

 支出済額 3 億 8,397 万 6,119 円

 不用額 31 万 4,881 円

となっております。これは、出納局職員の人件費であります。

また、176 頁の第 9 目「会計管理費」につきましては、

 予算現額 5 億 3,963 万 7,000 円

 支出済額 5 億 2,486 万 2,574 円

 不用額 1,477 万 4,426 円

となっております。支出済額の主なものは、財務会計システムの運用・更新に要した経費、物件等電子調達システムの運用・再構築に要した経費、証紙販売手数料、会計事務の検査に要した経費等であります。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の 4 種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

598 頁の次から掲げております「財産に関する調書」のうち、13 頁から 26 頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【42 基金の状況 総括表】

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土 地	— m ²	— m ²	— m ²
	建 物	— m ²	— m ²	— m ²
	立 木	— m ³	— m ³	— m ³
動 産		9,738 枚	— 枚	9,738 枚
有 価 証 券		6,628,051 千円	3,301,494 千円	9,929,545 千円
債 権		39,412 千円	△28,892 千円	10,520 千円
現 金		61,024,846 千円	△9,714,055 千円	51,310,791 千円
計		67,692,308 千円	△6,441,454 千円	61,250,854 千円

※四捨五入しているため、合計等が合わない場合があります。

平成 26 年度決算にかかる 42 基金を合わせた決算年度末現在高は、612 億 5,085 万 4,269 円で、前年度末現在高に比べ、64 億 4,145 万 4,039 円減少しております。

なお、基金については、確実かつ効率的に運用し、1 億 6,546 万 2,181 円の運用益がございました。

続きまして、平成 26 年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご意見をいただきました事項に対する、出納局の取組をご説明申し上げます。

財務事務につきましては、会計事務にかかる検査、各所属からの相談、会計事務職員を対象とした各種研修等を実施して、不適切な会計事務処理の未然防止及び会計事務職員の人材育成に努めています。

金品亡失（損傷）につきましては、各所属への依命通知や各種研修会において注意喚起するとともに、過失による県の損害額が 10 万円以上の金品の亡失等に対して所属長への文書指導を行うなど金品の管理意識の向上に努めています。

財産管理等につきましては、遊休物品の計画的な処理をはじめ、物品購入利活用書を活用した高額物品の適切な取得・利活用、インターネットオークションを活用した売払いの拡大、全庁横断的な集約処分による売却など、「みえ物品利活用方針」に基づく取組を進めています。

資金の運用につきましては、より正確に資金の需給を把握するとともに、債券による長期運用の拡大を平成 27 年度から実施しており、今後とも安全かつ効率的な資金運用を行ってまいります。

以上をもちまして、平成 26 年度決算並びに財産についての説明を終わります。
なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度

歳入歳出決算補充説明

人 事 委 員 会

人事委員会関係の平成26年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「平成26年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の128頁の第14款 諸収入、第5項 受託事業収入、第1目 総務関係受託事業収入の公平事務受託事業収入については、予算現額・収入済額とも2万4千円であります。次に、134頁の第8項 雑入、第2目 雑入のうち、人事委員会関係分については、予算現額8万4千円に対し、収入済額が8万4,903円であります。

以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算現額10万8千円に対し、収入済額が10万8,903円となります。

なお、収入未済はございません。

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

230頁の第2款 総務費、第9項 人事委員会費、第1目 人事委員会費については、予算現額1億1,990万9千円に対し、支出済額は1億1,862万7,931円、不用額は128万1,069円であります。

支出済額の内訳としましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費1億960万1,358円、給与関係調査に要した経費107万9,949円、各種競争試験及び選考試験等の実施に要した経費770万8,884円、公平審査関係及び労働基準監督業務に要した経費23万7,740円であります。また、不用額128万1,069円は、主に採用試験の実施に要した経費等の執行残であります。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の平成26年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

平成26年度

歳入歳出決算補充説明

項目	金額	比率	備考
歳入	100,000,000	100%	
歳出	95,000,000	95%	
繰越金	5,000,000	5%	

監査委員事務局

平成26年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係の歳出決算につきまして、その概要を説明申し上げます。

「平成26年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の232頁から235頁を参照願います。

歳出決算額は、第2款 総務費、第10項 監査委員費、第1目 監査委員費のうち、2億2,529万268円で、その内訳は、監査委員、事務局職員の人件費、監査業務に要した旅費等の事務費です。

主な事業内容としては、定期監査（354箇所）及び財政的援助団体等監査（30団体）を行いました。

また、一般会計・特別会計及び企業会計の決算審査並びに健全化判断比率及び資金不足比率等についての審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の平成26年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A-B)
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	226,403,000	225,290,268	1,112,732
合 計	226,403,000	225,290,268	1,112,732

（「平成26年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」232頁から235頁までを抜粋）

平成26年度

歳入歳出決算補充説明書

議会事務局

議会関係の平成26年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

まず、歳入決算について申し上げます。

歳入といたしまして、「平成26年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」134頁の第14款「諸収入」、第8項「雑入」、第2目「雑入」のうち議会関係分は、予算現額980万7千円に対し、調定額、収入済額とも981万1,721円となっております。収入済額の主なものは、平成25年度政務活動費収支報告による返還金であります。

次に、138頁の第6目「違約金及び延納利息」、第2節「違約金」のうち議会関係分は、予算現額0円に対し、調定額、収入済額とも2万1,789円となっております。これは、議事堂受付派遣業務の契約解除による違約金であります。

なお、雑入及び違約金とも収入未済はございません。

次に、歳出決算について申し上げます。

歳出といたしまして、162頁の第1款「議会費」、第1項「議会費」、第1目「議会費」は、予算現額14億9,273万5千円に対し、支出済額は14億7,079万9,797円となっております。

支出済額の内訳としましては、議員報酬及び議員の期末手当等
8億100万7,247円のほか、議会運営に要した経費3億3,
118万8,382円、及び事務局職員の人件費3億3,547万
3,154円、事務局運営に要した経費313万1,014円とな
っております。

以上、簡単でございますが、議会関係の平成26年度歳入歳出決
算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。